

令和7年度 東京大学学費免除申請書

Application for Admission/Tuition Fee Exemption – Academic Year 2025

東京大学総長殿

令和7年度前後期学費免除を申請します。

本申請書及び添付書類のすべての記載事項は事実と相違ありません。なお、申請書及び様式等の記載事項に事実と相違があった場合、免除許可を取り消されても異議はありません。

後期に課程が変わる場合(修士→博士等)は、後期に改めて申請が必要であることを理解しました。

学部・研究科等

工学系研究科

*学部
修士
博士
専門職

令和7年 X 月 X 日

学 生 証 番 号

37-XXXXXX

(フリガナ)

申請者氏名(自署)

トウダイ タロウ
東大 太郎

前年度学生証番号: 03-XXXXXX

*印のところは該当のものを○で囲むこと

必ず署名してください

*今回の申請内容	入学料免除 / 授業料免除(前後期同時申請)	*修士支援制度への申請状況(学部学生のみ)	採用中・申請予定 支援区分無・申請資格なし 廃止・給付期間終了
①入学(進学)年度	XXXX 年 X 月 入(進)学	* 学士入学 編入学	②留学生は右欄に○を付けること→
③本人住所 〒	メールアドレス(xxxxxxxxxxxxxxxxxxxx@g.ecc.u-tokyo.ac.jp) (080-XXXX-XXXX)		
④家族(父母)	申請内容に関する問い合わせは申請書記載のメールアドレス・電話番号宛てに行います。 連絡がとれない場合は選考対象から外しますので、必ず連絡のとれる連絡先を記入してください。		

⑤家族状況	続柄	氏 名	年齢	*配偶者 (それに準ずる者)	在学学校名	学年	*通学別	給与収入	所得
	本人	東大 太郎	23	有 無	国立 東京大学	M1	自宅・自宅外		
	続柄	氏 名	年齢	職業	勤務先		在職期間		
	父	東大 ○○	60	会社員	○○商事		40年		
	母	東大 ◇◇	55	パート	××マート		2ヶ月		
	母子(父子)家庭の場合	* □死亡(時期 年 月) →遺族年金【有・無】 * □離婚(時期 年 月) →養育費【有・無】 □その他(時期 年 月)(理由:)							
	*父	受給中の年金【有:国民年金、厚生年金、共済年金、企業年金、個人年金、障害年金、その他()・無】							
	*母	受給中の年金【有:国民年金、厚生年金、共済年金、企業年金、個人年金、障害年金、その他()・無】							
	続柄	氏 名	年齢		在学学校名	学年	*通学別	給与収入	所得
	就学者	妹	東大 ▽▽	14	市立 ○○中学校	3	自宅・自宅外		
				立		自宅・自宅外			
				立		自宅・自宅外			
				立		自宅・自宅外			
続柄	氏 名	年齢	職業	勤務先		在職期間			
就学者を除く家族	弟	東大 □□	18	予備校生	△△予備校				
*親戚・知人からの援助【有・無】(年間 円)									

⑥奨学金受給状況	受給年度(受給有無)	令和6年度(2024.4~2025.3)	令和7年度(2025.4~2026.3)			
		(*有・無) ↓有の場合は記入	(*有・無) ↓有の場合は記入			
	団 体 名 (奨 学 金 名)	給・貸与期間	給・貸与月額	給・貸与期間	給・貸与月額	
	日本学生支援機構 (JASSO)	第一種	R6年 4月~ R7年 3月	XX,XXX 円	年 月~ 年 月	円
		第二種	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円
		給付	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円
学習奨励費	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円		
〇〇財団奨学金	R6年 4月~ R7年 3月	XX,XXX 円	年 月~ 年 月	円		
	年 月~ 年 月	円	年 月~ 年 月	円		

その旨を余白に記載してください。

課税される奨励金(例: GSGC, WINGS, GLAFS, MERIT, SEUT-RA, SPRING-GX)は奨学金ではありません。受給者は採用証明書(写)を提出してください。

⑦ 履歴 (職歴含む)	20XX 年 3 月 県立〇〇〇		高等学校卒業・大学入学資格検定合格・ 高等学校卒業程度認定試験合格	年 月	
	20XX 年 4 月 東京		大学 入学	年 月	
	20XX 年 3 月 東京大学		卒業	年 月	
	20XX 年 4 月 東京大学		大学院修士課程入学	年 月	
	年 月			年 月	
⑧ 授業料 免除状況	令和6年度	前期分	* 申請 ☒ 有 ・ 無 ・ 休学		
		後期分	* 申請 有 (前後期同時申請・再申請・後期分のみ申請) ・ 無 ・ 休学		
	令和7年度	前期分	前期申請時は回答不要		
		後期分			
⑨ 身分異動	平成・令和 年 月 ~ 平成・令和 年 月 (* 留学・休学) 理由 ()				
	平成・令和 年 月 ~ 平成・令和 年 月 (* 留学・休学) 理由 ()				
	平成・令和 年 月 ~ 平成・令和 年 月 (* 留学・休学) 理由 ()				
⑩ 修業年限を超えて 在籍している理由	◇理 由 (* 病気・休学・留学・論文作成・その他) ※理由書(別紙様式8)を添付すること ◇指導教員名 (* 教授・准教授・講師)				
⑪ 家族免除申請理由 (家族免除申請理由)	※全員記入				
	私の家庭は.....で、.....のため、.....				
	申請理由は記入必須です。 記入の無いものは受理できません。				
※If you write this section in English, please attach a Japanese translation.					
⑫ 主たる家計支持者が 無職(失職)の場合	◇発生年月日(平成・令和 年 月) ◇就業見込み(* 有 ・ 無) ◇現在の生活費の出所 ()				
⑬ 障害等 関係事項	続柄	氏 名	* 所得控除該当事項	手帳番号	* 障害年金受給
			心身障害・公害疾病・長期療養・原爆被爆・要介護		有 ・ 無
			心身障害・公害疾病・長期療養・原爆被爆・要介護		有 ・ 無

注意

- ・記入漏れがないか十分に注意してください。
- ・申請書の内容は、4月1日現在の事実をありのままに正確に記入して下さい。故意に事実と相違して記入した場合は、許可後であっても免除許可を取り消します。
- ・後期に課程が変わる(学部→修士、修士→博士、専門職→博士) 場合や転学部・転研究科した場合は、後期に改めて申請が必要です。課程・所属が変わった場合、申請は引き継がれないため、後期に申請を忘れないよう十分注意してください。
- ・署名は必ず申請者本人が署名してください。
- ・署名以外の部分に関してはPC入力でも差し支えありません。
- ・手書きする場合、黒のペンまたはボールペンで記入してください。(鉛筆や消せるボールペンの使用は不可)
- ・申請は、当年度限り有効です。次年度以降も在学する者で学費免除を希望する場合には、次年度に改めて申請してください。

3. 申請書の記入方法

- 申請書様式及び記入例は東京大学 HP「入学料・授業料免除」のページからダウンロードしてください。
- 申請書類の内容は、前期分は4月1日現在で、後期分は10月1日現在で事実をありのままに正確に記入してください。
申請書に記入した内容及び提出した申請書類に虚偽があった場合には、免除許可が取り消され、免除された学費を納めなければなりません。
- 黒のペン又はボールペン（消せるボールペンは不可）で記入してください。＊印のところは該当のものを必ず丸で囲む又はチェックボックスにチェックし、文字や数字は丁寧かつ明瞭に記入してください。
- 自署欄以外はPCで入力しても構いません。
- 自署欄（1枚目右上）は、必ず申請者本人が署名してください。

----- ↓学費免除申請書及び記入例と併せて確認してください↓ -----

- ① 入学（進学）年度
 - ・ 現在の課程に入学又は進学した年度を記入してください。（学部3・4年生は、3年次進学年度を記入）
 - ・ 学士入学者、高専等編入学者は、＊印の該当部分を○で囲むまたはチェックボックスにチェックし、入学年度を記入してください。
- ② 留学生は、○を入れてください。
- ③ 本人住所
 - ・ 住所・電話番号の他に必ず連絡のとれる研究室内線（学部学生等で研究室がない場合には記入不要）とメールアドレスを記入してください。
 - ・ 基準日時点の住所・電話番号等を記入してください。申請後に変更があった場合、UTASにログインし、住所情報等を書き換えてください。なお、通学区分が変わる引越の場合は、必ず申し出てください。
- ④ 家族（父母）住所
 - ・ 大学院学生で独立生計を営む者及び留学生の場合も必ず家族（父母）の住所を記入してください。
- ⑤ 家族状況
 - ・ 「申請者」「父母（又はこれに代わって家計を支える者）」「配偶者」「生計を同一にする者」及び「住民票に記載されている者」を記入してください。
 - ※生計を同一にする者とは、同居・別居にかかわらず申請者及び父母又はこれに代わって家計を支える者の経済的支援がなければ生活できない者のことです。
 - ・ 学部学生5ページ、大学院生7ページを参照のうえ、学費免除申請では世帯構成員に含まれない家族の続柄欄に「×」を記入してください。（例：「×祖母」「×兄」など）
 - ・ 住民票に記載がなく、別生計の者については記載する必要はありません。
 - ・ 配偶者及びそれに準ずる者を別生計にすることはできません。
 - ・ 大学院学生で独立生計を営む者及び留学生の場合であっても、父母の欄は記入してください。
 - ・ 「職業」欄は、無職の場合でも空欄にせず、「なし」又は「無職」と記入してください。
 - ・ 母子・父子家庭の申請者は、「母子（父子）家庭の場合」の＊欄に必ず記入してください。
 - ・ 研究生、科目等履修生、聴講生又は各種学校（予備校、職業訓練校等）並びに専修学校一般課程に在学する者は「就学者を除く家族」欄に記入してください。※就学者に係る所得控除はありません。

- ・「本人」及び「就学者」欄の「*通学別」は、父母又はこれに代わって家計を支える者から見た通学区分を記入してください。なお、大学院学生で独立生計を営む者及び留学生の通学区分は「自宅」です。

⑥奨学金受給状況

- ・前年度又は今年度において、奨学金を受給している場合は、必ず記入してください。
- ・日本学生支援機構奨学金（第一種・第二種・給付・学習奨励費）以外の奨学金を受給している場合は、奨学団体名（奨学金名）・期間・受給額を正確に記入してください。
- ・申請予定・申請中の奨学金がある場合、欄外に「申請中」と追記して記入してください。

⑦履歴

- ・高校卒業から現在までの履歴（職歴も含む※ただしアルバイトは除く）を記入してください。
- ・記入欄が足りない場合は、別紙（A4 サイズ・様式自由）に記入してください。

⑧授業料免除状況（東京大学での実績のみ）

- ・過去一年間分の授業料免除申請状況を記入してください。

⑨身分異動（該当者のみ）

- ・休学した者は、その期間及び理由を正確に記入してください。
- ・留学した者は、その期間及び理由欄に留学先（国名・学校名）を正確に記入してください。

⑩修業年限を超えて在籍している理由（該当者のみ）

- ・標準修業年限を超えて在籍している者は、該当理由に○またはチェックして、指導教員名を記入してください。

い。

⑪免除申請理由【記入必須。無記入の場合、申請を受け付けません。】

- ・免除申請をするにいたった理由を具体的かつ明確に記入してください。
- ・求職活動中である場合や年金・給付金等を申請中の場合は、その旨を記入してください。
- ・申請者又は父母もしくはこれに代わって家計を支える者と同居しているが別生計である者がいる場合は、別生計である理由を記入してください。（例：4月から就職したため、同居・別生計である等）

⑫主たる家計支持者が無職（失職）の場合（該当者のみ）

- ・生活費の出所を正確に記入してください。

⑬障害等関係事項（該当者のみ）

- ・申請者を含む世帯内に障害者・長期療養者・要介護認定者などがある場合に記入してください。また、必ず障害年金の有無を記入してください。

個人情報について

申請書などに記入された内容及び提出された書類の情報は、学費免除・徴収猶予等の奨学関連事業のために使用し、その他の目的には利用しません。